

【】建武の新政・室町幕府

【】建武の新政と室町幕府の成立

[建武の新政]

[問題]

建武の新政とよばれる，天皇中心の政治を行った天皇は誰か。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]後醍醐天皇

[解説]

後醍醐天皇は、幕府に不満をもつ御家人や悪党を味方につけ、幕府をたおす戦いを起こし、1333年ついに鎌倉幕府をほろぼした。そして、1334年、後醍醐天皇を中心とする建武の新政が始められた。この政治は、武家の政治を否定し、公家(貴族)を重視するものであった。新政の大事な役には公家が多くあてられ、恩賞に不満を持つ武士も少なくなかった。また、税の軽減は行われず、戦乱による苦しみを考えずに宮殿の造営を考えるような政治の失敗もあいついだ。「このごろ都ではやっているものは、夜襲、強盗、にせの天皇の命令。…」という二条河原落書は、政治や世の中の混乱を痛烈に批判したものである。建武の新政に対する武士たちの間に不満が高まり、足利尊氏が武家の政治の復活を呼びかけ兵をあげると、新政は2年ほどでくずれ、南北朝の動乱をまねいた。

[建武の新政]

後醍醐天皇の建武の新政

武家の政治を否定し、公家を重視

↓
武士の不満、足利尊氏の挙兵

[問題]

足利尊氏は室町幕府を開いたが、その背景には、公家重視の政治に対する武士の不満があった。後醍醐天皇が行ったこの公家重視の政治は、その時改められた年号をとって何とよばれているか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]建武の新政

[問題]

建武の新政は武士の不満などにより2年ほどでくずれた。武士が不満をもったのはなぜか、その理由を1つ書け。

(石川県)

[解答欄]

[解答]公家重視の政策をとったから。

[解説]

建武の新政では、大事な役には公家が多くあてられ、おんしょう恩賞に不満を持つ武士もあった。また、税の軽減は行われず、戦乱による苦しみをかえりみずに宮殿の造営を考えるような政治の失敗もあいついだ。こうして、しだいに公家中心の新政に不満をもつ者が多くなっていった。

[南北朝の動乱]

[問題]

朝廷が京都と吉野に分かれ()朝時代が約60年続いた。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]南北

[解説]

建武の新政に対する武家の不満が高まり、あしかがたかうじ足利尊氏が武家の政治の復活を呼びかけ兵をあげると、新政は2年ほどでくずれた。

足利尊氏は京都に新たに天皇を立てた。これをほくちよう北朝という。

後醍醐天皇はよしの吉野(奈良県)に逃れたが、これをなんちよう南朝という。足利尊氏は1338年に、北朝によってせいいたいしよくん征夷大將軍に任命されて、京都にむらまちばくふ室町幕府を開いたが、幕府の支配力は弱く、このあと約60年にわたってなんぼくちよう南北朝の動乱の時代が続くことになる。(將軍いさみはだ尊氏勇み肌(1338))

この時代、相続をめぐるそれぞれの武士一族内部の争いが激しくなっていた。一方が北朝方につくと、他方が南朝方について戦うという形で、戦乱

[南北朝の動乱]

- 1335年 足利尊氏 挙兵
- 1336年 尊氏、京都に天皇をたてる(北朝)
後醍醐天皇、吉野に逃げる(南朝)
- 1338年 尊氏、北朝から征夷大將軍に
任じられ、室町幕府を開く
-
- (南北朝の動乱) 守護が守護大名に成長
-
- 1392年 足利義満が南北朝を統一



を拡大させた。また、幕府内部も 2 つに分かれて争い、内乱ははてるともなく続いた。南北朝の動乱のなかで足利尊氏は、味方になってもらいたい守護に荘園の年貢の半分を徴収する権限を与えた。これをきっかけに、守護は国内の武士を家来にしていき、その国全体を支配する守護大名に成長していった。14 世紀末になって、ようやく各地での争いも少なくなり、1392 年、第 3 代將軍足利義満が、南北朝を統一させ、約 60 年続いた南北朝の動乱は終わった。(いざ国(1392)を統合南北朝)

[問題]

鎌倉幕府がほろぶと、建武の新政とよばれる天皇中心の新たな政治がはじまった。しかし、公家重視の政策などに不満をもつ武士がふえ、足利尊氏が、武家政治の再興をよびかけて兵をあげると、新政はわずか 2 年ほどでくずれてしまった。その結果、社会はどのようになったか、下のア～エの中から 1 つ選んで、その記号を書け。

ア 南朝と北朝の 2 つの朝廷が生まれ各地の武士を味方につけて争う時代が続いた。

イ 下剋上の風潮が広がり、守護大名の地位をうばって、実権をにぎる戦国大名が登場した。

ウ 御成敗式目が定められるなど、幕府の支配力が強まった。

エ 武士以外から武器をとり上げることで、武士と農民の身分の区別が明らかにされた。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

イは戦国時代。ウは鎌倉時代。エは安土桃山時代。

[問題]

約 60 年間にわたる南北朝の動乱とかかわりの深い社会の動きについて述べた文として、最も適切なものを次のア～エから選べ。

ア 有力農民は開発した土地を守るため、武装して武士団を形成した。

イ 守護の権限が強められ、領国内の武士を従えて守護大名に成長した。

ウ 下剋上の風潮が高まる中で、多くの守護大名がその地位を奪われた。

エ 元寇での働きに対する恩賞が不十分で、多くの御家人が生活に困窮した。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは平安後期。イは南北朝の動乱の時代。ウは戦国時代。エは鎌倉時代。

[問題]

鎌倉時代に、幕府は国ごとに(X)において国内の軍事や警察の仕事にあたらせた。室町時代になると、(X)は国内の武士を従えて自分の領地を拡大することにより、(X)大名へと成長していった。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]守護

[室町幕府]

[問題]

室町幕府の初代将軍は誰か。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]足利尊氏

[問題]

足利尊氏が幕府を開いた場所を、図中の A～D の中から 1 つ選んで、その記号を書け。

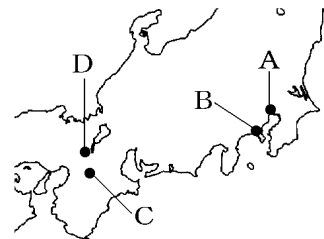
(茨城県)

[解答欄]

[解答]D

[解説]

室町幕府の場所は D の京都。



[問題]

資料中の A には、室町時代の将軍の補佐役の名称が入る。その補佐役の名称は何か。次から 1 つ選べ。

[執権 管領 関白 老中]

(岩手県)

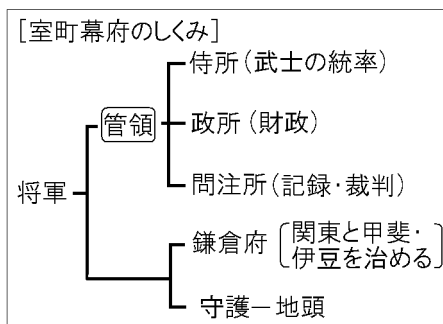
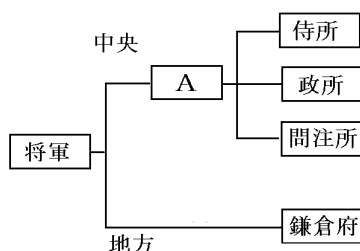
[解答欄]

[解答]管領

[解説]

管領は将軍を補佐する役職で、侍所(武士の統率)・政所(財政)・問注所(記録・裁判)を統括した。管領には有力な守護大名が交代で任命された。鎌倉府は、関東の地域を支配するための地方機関としておかれた。

第3代将軍足利義満は、京都の室町に花の御所と呼ばれる大邸宅を建てて政治を行った。足利氏の幕府を室町幕府と呼ぶのはこの室町という地名に由来している。



【】東アジアとの交流

[倭寇・勘合貿易]

[問題]

勘合貿易が始まったころ、朝鮮半島や中国に行き、貿易を強要したり、海賊となって物などを奪ったりする日本人を中心とした集団がいた。この集団は当時何とよばれていたか。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]倭寇

[解説]

中国で元がおとろえ、日本で南北朝の動乱で幕府の支配力が弱くなっていた時期、倭寇の活動がさかんになった。倭寇とは、吉岐・対馬・肥前松浦の土豪・商人・漁民を中心に朝鮮人も加わった武装商人団で、ふだんは、

中国や朝鮮の沿岸部で貿易を行い、貿易が認められないときは海賊となって暴れ回り、略奪を行った。

1368年、中国では漢民族が元を倒して明を建国した。明は倭寇のとりしまりを日本に求めてきたが、日本国内は南北朝動乱の末期で、これに対応できなかった。その後、1392年になって第3代将軍足利義満は南北朝の統一を達成した。

義満は、倭寇のとりしまりを約束し、さらに日本国王として明の皇帝に従うという形式をとって、1404年に日明貿易(勘合貿易)を始めた。(中国独特の中華思想では、中国の皇帝の下に周辺国の王が臣下としてつかえるべきものと考えていた)このような形式をとってまで、義満が日明貿易を行ったのは、その利益が非常に大きかったためで、財政基盤の弱い室町幕府にとっては魅力的なものであった。貿易船には、正式な貿易船と倭寇を区別するために勘合という合い札をもたせた。

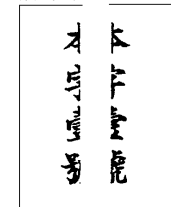
「本字勘合」などと書いた札を2つに分け、片方を勘合船がもち、片方を中国の役所でもって、2つの割札がきちんと重なるかどうかで、正式の貿易船と倭寇を区別した。日本からの輸出品は刀、銅、まき絵などで、日本の輸入品は銅銭、

[日明貿易]
明が、倭寇の取りしまりを日本に求める
↓
1404年 足利義満、日明貿易を始める
勘合で 正式な貿易船と倭寇を区別



足利義満

(勘合)



生糸，絹織物，書画であった。日明貿易がはじまると倭寇の活動はおさまった。

[問題]

14世紀の東アジアでは、倭寇の活動がさかんになった。この背景には、当時の日本、中国、朝鮮に共通する社会情勢が考えられる。この共通する社会情勢について、次の資料を参考にして、簡潔に書け。

(資料)

日本：建武の新政が終わり、南北朝時代が始まった。

中国：明が建国されモンゴル民族は北に追われた。

朝鮮：高麗が倒され朝鮮国が建てられた。

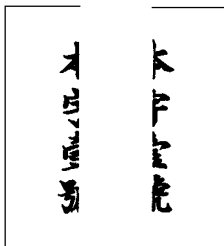
(大分県)

[解答欄]

[解答]日本、中国、朝鮮とも、国内情勢が不安定であった。

[問題]

次の資料は、足利義満がはじめた中国(明)との貿易において、正式な貿易船に与えられた勘合という合札である。これを用いた貿易が始められた背景を、資料を参考にして説明せよ。



(鳥取県)

[解答欄]

[解答]当時、倭寇が中国沿岸を荒らしており、中国はその取り締まりを幕府に求めてきた。義満は倭寇を取り締まる見返りとして、明との貿易を認められた。

[問題]

中国から倭寇の取りしまりを求められた当時の幕府がとった政策について述べた文はどれか。次のア～エのうちから最も適当なものを1つ選び、その符号を書け。

- ア 二度にわたって、国内の大名に命じて大軍を組織し大陸に出兵した。
- イ 貿易の発展に努め、海外に向かう貿易船に対して、朱印状を与えた。
- ウ 博多湾岸に防塁(石塁)を築いて、敵の上陸に備えた。
- エ 海賊行為を禁じるとともに、貿易を許可した船に勘合を与えた。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは豊臣秀吉の朝鮮侵略。イは江戸時代初期の朱印船貿易。ウは鎌倉時代の元寇。

[問題]

南北朝を統一して政治の権限を幕府に集中させ、また、明との間で国交を結んで勘合貿易を始めたのはだれか。

(山形県)

[解答欄]

[解答]足利義満

[問題]

足利義満のときに始まったこととして、最も適当なものはどれか。

[勘合貿易 摂関政治 幕藩体制 執権政治]

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]勘合貿易

[問題]

将軍足利義満が中国と貿易を行ったときに、正式な貿易船であることの証明として勘合が使用されたが、当時の中国の国名を漢字で答えよ。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]明

[問題]

明と貿易を行う際に、倭寇と区別するため正式な貿易船が持参したものは何か。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]勘合

[問題]

日明貿易で勘合が用いられたのはなぜか。その理由を簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]正式な貿易船に勘合をもたせて、倭寇と区別するため。

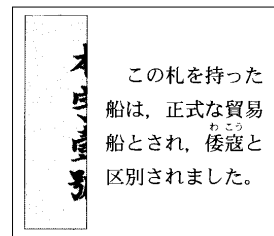
[問題]

右の図のような札を用いた貿易が開始されたのは、[奈良・平安・鎌倉・南北朝・室町・安土桃山・江戸・明治]のどの時代か。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]室町



[問題]

勘合貿易について正しく述べたものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 日本の輸出品は、主に生糸や絹織物であった。

イ 日本の輸入品は、主に銅銭であった。

ウ この貿易は、倭寇の出現で中断した。

エ この貿易の相手国は、宋であった。

(山形県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

鎌倉時代から室町時代にかけて商工業が発達し貨幣への需要が増大した。当時、貨幣は中国から輸入した銅銭(宋銭や明銭)が用いられた。

[問題]

勘合貿易の輸出品と輸入品について、次の X, Y にあてはまるものの組み合わせをア～エから 1 つ選べ。

日本から輸出したもの : (X), 硫黄, 砂金など

日本が輸入したもの : (Y), 陶磁器, 書画など

ア : X 刀, Y 銅銭 イ : X 銅銭, Y 刀

ウ : X 生糸, Y 銅銭 エ : X 銅銭, Y 生糸

(山形県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

15 世紀、足利義満は、中国が伝統的に周辺諸国に対して行ってきた形式に従い日明貿易を始めた。この間、大量に輸入された()は、室町時代の商業の発展を支えた。

(1) 文中の()に適する語句を書け。

(2) 下線部について、この形式を何というか。

(福井県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 銅銭 (2) 朝貢

[問題]

中世になると、貨幣が広く使用されるようになったが、このことに最も関係の深いできごとを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 最澄が遣唐使とともに唐にわたり、仏教を学ぶ。
- イ 朝鮮通信使と呼ばれる使節が日本を訪れる。
- ウ 小野妹子らが遣隋使として隋に派遣される。
- エ 足利義満が勘合貿易を始める。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

貿易が始まった後の日本と明との交流が、室町時代の経済・社会・文化に与えた影響について説明した文として適当でないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 中国から帰国した僧によって日本の水墨画が完成された。
- イ 平氏に焼かれた東大寺南大門が、中国の様式を取り入れて再建された。
- ウ 明との貿易の拠点として堺や博多などの港湾都市が栄えた。
- エ 日本国内での取引には、中国から輸入された明銭も使われるようになった。

(島根県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イは鎌倉時代。

[朝鮮との貿易]

[問題]

勘合貿易が始まったころ，朝鮮半島では(高麗 / 新羅)にかわって朝鮮国がつくられた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]高麗

[解説]

朝鮮半島では，元に服属した高麗こうらいが書物の印刷に金属活字を使い，わたの栽培を始めるなど，新たな技術を中国から積極的に取り入れていた。14世紀末には，倭寇わこを撃退して名声をあげた李成桂りせいけいが高麗を倒して朝鮮国ちょうせんを建国した。朝鮮では，ハングルという文字を

つくるなど，独自の文化が発展した。朝鮮も，日本に倭寇の取りしまりを求め，さらに貿易を求めてきたので，足利義満あしかがよしみつは日朝貿易にっちょうぼうえきを始めた。日朝貿易では，日本の各地の守護大名などが貿易船を派遣はけんして綿織物や仏教の経典を輸入した。

[朝鮮国]

高麗→朝鮮国(李成桂)

ハングル文字 **한글**

足利義満:日朝貿易

[問題]

15世紀につくられた朝鮮独自の文字を何というか。カタカナで書け。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ハングル

[琉球王国の成立]

[問題]

尚氏が沖縄本島を統一し，(A)を建国した。(A)は，日本や中国，朝鮮，東南アジアなどの中継貿易をさかんに行った。また，尚氏の居城のあった首里は，(A)の都として栄えた。A にあてはまる王国の名を書け。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]琉球王国

[解説]

おきなわ 沖縄では、15世紀はじめに尚^{しょうし}氏が琉^{りゅう}球^{きゅう}王国^{おうこく}を建て首都^{しゅり}の首^{しゅ}里^りに首^{しゅ}里^り城^{じやう}を築^{たく}き、明^{めい}、日本^{にっぽん}、朝鮮^{ちやうせん}、東南^{とうなん}ア^アジ^アア各地^{かくち}に進^{しん}出^{しゅつ}して中^{なかつぎ}継^ぎ貿易^{ぼうえき}を行^いった。

[[琉球王国]] 尚氏が建国 中継貿易で栄える

[問題]

琉球王国は、日本、中国、朝鮮、東南アジアの国々を相手に貿易を行った。その貿易の形態は、おもに他国からの輸入品を別の国へ輸出するものであった。このような貿易を何というか。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]中継貿易

[問題]

次の文の　，　に適語を入れよ。

琉球王国が建国されたころ、日本では室町幕府が中国の王朝である(　　)へ正式な貿易船を派遣し、勘合貿易を行っていた。また、日本と朝鮮との貿易も行われていた。このように東アジアで交易が活発に行われる中、琉球王国は、日本や中国、朝鮮へ東南アジアの物産をもたらす(　　)貿易により繁栄した。

(埼玉県)

[解答欄]

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

[解答] 明　　中継

[問題]

尚氏が沖縄に建てた琉球王国では貿易がさかんであった。その貿易の特色を簡潔に書け。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]日本・中国・東南アジア諸国をむすぶ中継貿易を行っていた。

[問題]

15～16世紀の琉球王国は、()及び東南アジアとの間の中継貿易を活発に行っており、繁栄していた。首里城は、琉球王国の歴代国王の居城として、政治、外交、文化の中心の場所であった。

- ア 日本，中国，ロシア イ 日本，中国，朝鮮
ウ 中国，朝鮮，ロシア エ 日本，朝鮮，ロシア

(千葉県)

[解答欄]

[解答]イ

[問題]

右の資料の城は、15世紀に成立した琉球王国の都に建てられていたが、近年復元され現在は世界遺産の一部となっている。この城の名称は何か。

(三重県)



[解答欄]

[解答]首里城

【】産業の発達と民衆の生活

【】農業・商工業の発達

[農業の発達]

[問題]

室町時代には、鉄製の農具や()を使った耕作がいつそう普及した。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]牛馬

[解説]

室町時代、農業では、^{にもうさく}二毛作が広がり、かんがいに水車を、肥料に牛馬のふんや堆肥を使うようになり、農業の生産性が向上した。また、麻やくわ、あい、茶などの商品作物の栽培が広がった。

[室町代の農業の発達]

二毛作、肥料、水車
商品作物の栽培

[問題]

次の文章中の ， に適語を入れよ。

室町時代になると、農業が発達し、同じ土地で1年に2種類の作物を作る()作が広まり、かんがい()を、肥料に牛馬のふんや堆肥を使うようになり、収穫が増えた。また、麻やくわ、あい、茶などの商品作物の栽培が広がった。

(補充問題)

[解答欄]

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

[解答] 二毛 水車

[商業の発達]

[問題]

右の絵には、物資輸送のようすが描かれている。この絵に描かれているような方法で米などを運搬した室町時代の運送業者は何とよばれているか。



(大阪府)

[解答欄]

[解答]馬借

[解説]

室町時代，商業もさかんになり，交通の要地では問(港)の運送業・倉庫業者，馬借(馬の背に荷物を積んで荷物を運ぶ業者)などの運送業者が活躍した。

商工業がさかんになり，また日明貿易で大量の銅銭が輸入さ

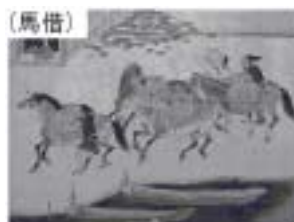
れたことにより，貨幣(宋銭や明銭)が一般に流通するようになった。(例えば，農民が米などを値段が高いときに市で売って貨幣にかえ，荘園の年貢を貨幣で支払うことも多くなった)

これにともなって，金貸し業もさかんになり，京都や奈良では，土倉とよばれた質屋のほか，酒屋も金貸しを営んだ。

商人や手工業者は，同業者ごとに座とよばれる団体をつくり，公家や寺社に営業税を納めるかわりに，営業を独占する権利を認めてもらった。たとえば，定期市(室町時代には月に6回開かれるようになった)は，交通の要地にあつて人が多く集まる寺社の門前で開かれることが多かったが，その寺社の認める座の商人のみが営業を行うことが許された。室町時代，商業の発達により，各地の港には港町が，寺社の門前には門前町が成長していった。

[商業の発展]

運送業:馬借,問
金融業:土倉,酒屋
座,定期市



[問題]

馬借が行っていた仕事の内容を次から1つ選べ。

[小売業 運送業 金融業 鍛冶・鋳物業]

(石川県)

[解答欄]

[解答]運送業

[問題]

室町時代，瀬戸内地方では港町が栄え，商品の輸送や販売などを行う業者が倉庫をかまえていた。この業者は何とよばれていたか。次から選べ。

[車借 馬借 酒屋 問]

(奈良県)

[解答欄]

[解答]問

[問題]

酒屋と同様に、金融業を営んでいた業者を、次から1つ選べ。

[土倉 馬借 座 問]

(山口県)

[解答欄]

[解答]土倉

[問題]

京都や奈良などで質屋や高利貸しを営み、室町幕府の保護、統制を受けた金融業者を、次の[]の中からすべて選べ。

[馬借 問 酒屋 土倉]

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]酒屋，土倉

[問題]

室町時代に京都などで栄えた酒屋や土倉が、共通して営んでいたことは何か。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]金融業(金貸し)

[問題]

室町時代には、商人や手工業者は同業者ごとに団体をつくり、営業を独占した。この団体の名を漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]座

[問題]

室町時代の商業や運送業などに関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア 商人や手工業者が座とよばれる同業者の組織をつくっていた。
- イ 明から輸入された銅銭などが取引に使われた。
- ウ 土倉や酒屋が金融業を営んでいた。
- エ 太平洋側に東廻り航路，日本海側に西廻り航路が開かれた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アイウは正しい。エの東廻り航路・西廻り航路は江戸時代である。

[村の自治と土一揆]

[問題]

室町時代，用水の配分・管理など，村のおきてが定められ，自治的に村が運用されたが，このような自治的な組織(村)のことを何というか。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]惣

[解説]

室町時代，農村では惣とよばれる自治組織が発達し，
団結を強めた農民は荘園領主に対抗するまでに力をつけていた。不法をはたらく荘官をやめさせるよう荘園領主に要求したり，不作のときには年貢を減らすように要求し，認められないときには，全員が耕作をやめて逃げるなど，実力行使によって要求を認めさせたりした。

[村の自治と土一揆]

惣→農民の団結→土一揆

1428年 正長の土一揆

土倉や酒屋を襲う

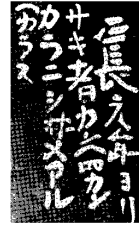
幕府に徳政令を求める

このような農民の力を，衝撃的な形で見せつけたのが，1428年の^{しょうちょう つちいっき}正長の土一揆であった。(人よにや(1428)つく土一揆)

8月に，まず近江の運送業者の馬借が^{ばしやく とくせい}徳政(=借金の帳消し)を要求して立ち上がり，これに刺激されて，京都近郊の^{そうそん}惣村でも徳政を幕府に要求して一揆を起こし，^{さかや どそう}酒屋や土倉などの金貸しをおそって借金の^{しょうもん}証文を焼き捨てるなどした。このような農

民の一揆を^{つちいっき}土一揆という。農民が集団でこのような暴動を起こしたのは，初めてのことであった。この後，徳政を要求する土一揆が，京都やその周辺でひんぱんに起こるようになり，幕府もこれにおされて徳政令を^{らんぱつ}乱発するようになった。

(正長元年以前の借金は
神戸四か郷では帳消し
にする)



[問題]

室町時代の農民の暮らしについて述べた文として最も適当なものはどれか，次のア～エから1つ選び，その記号を書け。

- ア 五人組の制度により，犯罪の防止や年貢の納入に共同の責任を負った。
- イ 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田が割りあてられ税を納めた。
- ウ 惣をつくり，寄合で，山野の利用や用水の配分など，村のおきてを定めた。
- エ 座をつくり，公家や寺社などの保護を受けて，販売などの独占権を主張した。

(三重県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは江戸時代，イは奈良時代，ウ，エは室町時代である。ウ，エのうち，室町時代の農村と関係が深いのはウである。

[問題]

村や町で生活する民衆は，文化の重要な担い手として成長した。能が大成され民衆の生活や感情がよく表れている狂言も演じられた。このころの民衆文化の広がり背景には民衆の地位の向上がある。特に農民の成長について，「農村では」という書き出しで，下の2つの語句を使って説明せよ。なお，2つの語句の使用順序は自由である。

[惣 おきて]

(島根県)

[解答欄]

[解答]農村では，農民が惣をつくり，自分たちでおきてを定め村の運営を行った。

[問題]

農民が下の資料のような目的のために団結しておこしたできごとを，何というか。

(資料)

「正長元年以前の借金は，カンベ(神戸)四か郷では帳消しにする。」

(福井県)

[解答欄]

[解答]土一揆

[問題]

次の文は，室町時代の土一揆のようすを説明したものである。文中の()に最も適当な語句を，漢字3字で書け。

土倉や酒屋などをおそって借金の証文をうばったり，幕府に借金の帳消しの()を出すことを要求したりすることなどがあった。

(大分県)

[解答欄]

[解答]徳政令

[問題]

徳政一揆では，農民はどのような要求を掲げていたか，簡潔に説明せよ。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]借金の帳消しを求め，幕府に徳政令を出すよう要求した。

[問題]

右図は、室町時代の民衆のようすを示す資料である。この資料と関係が深いできごとを次のア～エの中から1つ選んで、その記号を書け。

- ア 農民が団結して土倉・酒屋を襲ったり、徳政を求めたりした。
- イ 国司の中には不正を行って収入を増やす者がおり、地方政治が乱れていた。
- ウ 国内の社会不安に際して、「世直し」を唱える一揆がおこった。
- エ 小作料の減額を要求する小作争議がひんぱんにおこった。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

資料は室町時代におきた正長の土一揆に関するものである。
イは平安時代、ウは江戸時代、エは大正時代のできごとである

[問題]

正長の土一揆のような土一揆がおこるようになった背景として、最も適当なものを次のア～エの中から1つ選べ。

- ア 五人組の制度によって、農民は犯罪の防止や年貢の納入に共同の責任を負わされていた。
- イ 有力な農民の指導のもとで、惣とよばれる自治的な組織がつくられ、農民の結びつきが強まった。
- ウ 農民は、刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取りあげられ、もっぱら耕作に従事させられた。
- エ 農村に貨幣経済が広がり、農民は農具や肥料を購入するなど、自給自足に近かった農村の経済がくずれ始めた。

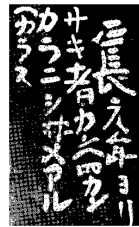
(福島県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]アは江戸時代、ウは安土桃山時代、エは江戸時代である。

(正長元年以前の借金は
神戸四か郷では帳消し
にする)



【】応仁の乱と戦国大名

[応仁の乱]

[問題]

次のうち、足利義政が東山に銀閣を建てたころ京都で起こった戦乱はどれか。

[承久の乱 平将門の乱 壬申の乱 応仁の乱]

(広島県)

[解答欄]

[解答] 応仁の乱

[解説]

強い権力をふるった第6代將軍足利義教あしかがよしのりの死後、幕府では守護大名間の勢力争いが起こった。1467年、第8代將軍足利義政よしまさのとき、將軍のあとつぎ争いと、細川氏ほそかわしと山名氏やまなしの対立から、応仁の乱が起こった。(応仁の乱人よむな(1467)しく死んでいく)

[応仁の乱]

8代將軍足利義政の後継ぎ問題で、細川氏と山名氏の対立

↓
1467年 応仁の乱

↓
下剋上の風潮

戦乱せんらんは多くの守護大名をまきこんで11年も続き、京都から全国に広がった。京都は焼け野原になり、將軍は、京都を中心とするわずかな地方を支配するだけとなり、天皇や貴族、寺社などの領地は各地の武士にうばわれた。こうした中で、実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がっていった。

[問題]

銀閣が建てられたころ、(鉄砲が伝来した / 応仁の乱が起こった)。文中の()内より適語を選べ。

(熊本県)

[解答欄]

[解答] 応仁の乱が起こった

[解説]

応仁の乱後、8代將軍の足利義政よしまさは京都の東山ひがしやまに東山山荘ともよばれる銀閣を建て風流な生活を楽しんだ。

[問題]

1467年に京都で始まった応仁の乱で対立した有力な守護大名の組み合わせとして正しいものを、次の[]から1つ選べ。

[細川氏と山名氏 織田氏と北条氏 武田氏と上杉氏 朝倉氏と毛利氏]

(長崎県)

[解答欄]

[解答]細川氏と山名氏

[問題]

三好氏は、主君の細川氏から実権をうばった戦国大名である。このように、実力のある者が力をのばして上の身分の者にうちかつこの時代の風潮は何とよばれるか。

(香川県)

[解答欄]

[解答]下剋上

[問題]

戦国時代の日本では、下剋上の風潮が広まっていた。下剋上とはどのようなことか、「身分」または「地位」のいずれか1つのことばを使い、簡単に書け。

(北海道)

[解答欄]

[解答]下の身分の者が、力をのばして上の身分の者にうちかつこと。

[国一揆・一向一揆]

[問題]

今の京都府南部では、一揆が守護を追放し、自治をおこなった。この一揆は何とよばれるか。

(香川県)

[解答欄]

[解答]山城国一揆

[解説]

応仁の乱後の 1485 年、山城(京都府の一部)南部の村は、
地侍を中心にまとまりを強め、両派に分かれて争っていた
守護大名の畠山氏の両軍勢に対して国外退去を要求
し、「退去しないときは攻撃するぞ」とせまり、1 週間

[国一揆・一向一揆]

1485年 山城国一揆

1488年 加賀の一向一揆

後に退去させた。そして、村々の代表者を選び、おきてを定め、犯罪のとりしまりを行
うなど、自治による政治を 8 年間続けた。この一揆を、山城国一揆という。

近畿、北陸、東海地方では応仁の乱のころから一向宗(浄土真宗)が急速に広がり、信仰
で固く結ばれた地侍と農民が一向一揆を起こして荘園領主や守護大名に対抗するよ
うになった。なかでも加賀(現在の石川県)では、1488 年、約 20 万人といわれる一揆軍
が守護大名を攻めほろぼし、以降 100 年間「百姓の持ちたる国」として自治をつづけた。
(人よパッパ(1488)と一向一揆)

[問題]

次の資料は、応仁の乱の後におこった山城国一揆のようすを記した日記の内容を要約
したものである。山城国一揆は、その当時から下剋上の風潮のあらわれとしてとらえら
れていた。山城国一揆が下剋上の風潮のあらわれとされる理由を、資料をもとにして、
簡単に書け。

「今日、山城の国の国人が集会した。参加者の年齢は、上は六十、下は十五、六歳とい
う。同時に、国中の農民なども群集した。今度の両軍に対する処置を決めるためだとい
う。今日、山城の国人が、宇治の平等院で会合をした。山城国中を統治するための掟を
改めて定めるためだという。」

(静岡県)

[解答欄]

[解答]国人や農民が掟を定め自分たちで山城国を統治したから。

[問題]

右の写真は、ある信仰で結びついた武士や農民たちがおこした一揆の旗を写したものである。このような一揆は、一般に何とよばれるか。

(香川県)

[解答欄]

[解答]一向一揆



「進まば往生極楽、退かば無間地獄」と書かれている。

[問題]

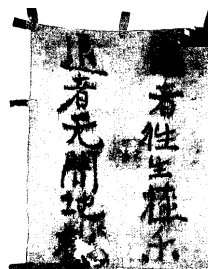
資料の旗について述べた文として適切なものをア～エから1つ選べ。

- ア 朝鮮や中国の沿岸を荒らした倭寇が掲げていた旗である。
- イ 織田信長が延暦寺を焼き討ちしたときに使った旗である。
- ウ 九州北部を襲撃してきた元軍が用いていた旗である。
- エ 一向宗を信仰する武士や農民の団結を示した旗である。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]エ



[問題]

一向一揆をおこした農民たちの信仰について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 座禅をして、自分の力でさとりをひらこうとした。
- イ ひたすら念仏をととなえ、阿弥陀仏にすがろうとした。
- ウ 国分寺や国分尼寺を建て、国家を仏教の力でまもることをめざした。
- エ まじないや祈祷によって、この世での幸せを手に入れることを望んだ。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イが正解。一向一揆いっこういっきをおこした農民たちは一向宗じょうどしんしゅう(浄土真宗)の信徒である。浄土真宗は、鎌倉時代に親鸞しんらんがおこしたもので、親鸞は「阿弥陀仏あみだぶつの救いを信ずる心さえもてば往生できる」と説いた。アは禅宗、ウは奈良時代の国家仏教、エは平安時代の空海くわかい しんごんしゅう(真言宗)と最澄さいしょう てんだいしゅう(天台宗)の密教である。

[戦国大名の登場と城下町]

[問題]

実力で領国を支配するようになった大名を何というか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]戦国大名

[解説]

応仁おうにんの乱以降、実力のある者が力をのばして上の身分の者に打ち勝つ下剋上げこくじょうの風潮ふうしやうが広がって、守護大名の地位をうばって実権をにぎったり、守護大名が成長したりして、戦国大名せんごくだいみょうが各地に登場した。戦国大名は、領国支配のための分国法ぶんこくほうという独自の法律を作った。また、武士や商工業者を集めて城下町じょうかまちをつくった。応仁の乱以後の約 100 年間は戦国時代せんごくじだいという。

[戦国時代]

戦国大名

分国法，城下町

[問題]

15 世紀，次の資料のような(A)を制定する戦国大名が現れた。

(資料) わが朝倉家の館のほかに，国内に城を構えてはいけない。有力な家臣は，みな朝倉家の館がある一乗谷に引っ越してくること。

(1) A にあてはまる語を書け。

(2) 各地の戦国大名が，A を制定した理由として，最も適切なものを，次のア～エから選べ。

ア 大名を統制し参勤交代させるため

イ 農民から武器を没収するため

ウ 旗本や御家人の借金を帳消しにするため

エ 領国内の武士や農民を統制するため

(群馬県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 分国法 (2) 工

[問題]

城を中心に発達した町を何というか。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]城下町

[問題]

戦国大名の政策により、家臣の住む場所は一般的にどのように変化したか、説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]領地に住んでいた家臣は、城下町に集められた。

[問題]

戦国時代、多くの大名が、家来の武士を領地のあった農村から城下町に住ませたのはなぜか、その理由を簡潔に述べよ。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]戦力を増強し、領国内の支配を強化するため。

[問題]

戦国大名は、領国を支配し豊かにするためにさまざまな政策を行った。この政策として適切なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

ア 税の基準を収穫高から地価に変えた。

イ 治水・かんがい工事を行った。

ウ 国司や郡司を配置して支配を強めた。

エ 農民に慶安の御触書を出した。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]イ

【】室町時代の文化 M

[北山文化]

[問題]

足利義満は、南北朝を統一し、京都の室町で政治を行った。彼がつくった公家文化と武家文化を融合した建物を、次の[]から1つ選べ。

[平等院鳳凰堂 中尊寺金色堂 金閣 銀閣]

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]金閣

[解説]

金閣は、第3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた別荘で、金箔を用いた豪華絢爛な寝殿造になっている。金閣には、公家の文化と武家の文化との融合という北山文化の特色がよく表されている。

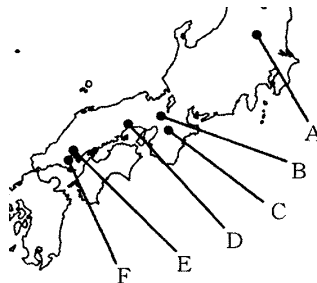
[北山文化]
公家の文化と武家の文化との融合
金閣 足利義満



[問題]

次の写真について、その名称を[]から、その場所を地図のA~Fから、それぞれ1つずつ選べ。

[厳島神社 金閣 原爆ドーム 東大寺 日光東照宮 姫路城]



(長野県)

[解答欄]

[解答]金閣，B

[東山文化]

[問題]

写真 A の建物と、写真 B にみられる建築様式について、それぞれの名称の組み合わせとして、正しいものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 金閣 - 寝殿造 イ 金閣 - 書院造
- ウ 銀閣 - 寝殿造 エ 銀閣 - 書院造

(宮城県)

[解答欄]

[解答]エ

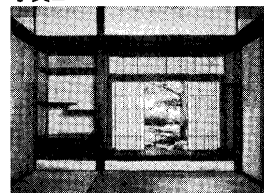
[解説]

おうにん らん 心仁の乱後、第 8 代将軍の足利義政はよしまさ
 京都の東山に東山山荘とも呼ばれる
 ひがしやま ざんそう 銀閣を建て風流な生活を楽しんだ。
 ぎんかく
 銀閣と同じ敷地内にある東求堂同仁斎
 とうくどうどうじんさい
 に見られる書院造は、住宅を障子など
 しよいんづくり しようじ
 で間仕切りして数室にわけ、畳を敷き、
 まじき たたみ
 明障子や床の間などをもっている
 明かりしようじ
 とくに特徴がある。書院造は、現在の
 和風建築のもとになっているといわれ
 る。この義政の時代の、武家をにない
 かんそ ひがしやま
 手とする簡素で気品のある文化を東山文化という。

写真A



写真B

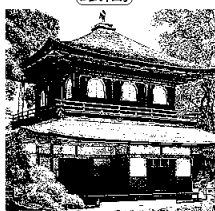


[東山文化]

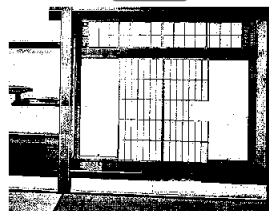
足利義政の時代

武家をにない手とする簡素で気品のある文化

銀閣



書院造



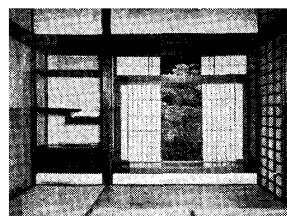
[問題]

右の資料は、足利義政が書齋として利用したものである。この建物の建築様式は現在の日本の建築様式のもとになっているといわれるが、この建築様式を何というか。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]書院造



[問題]

次の文の ， に適語を入れよ。

将軍であった()が建てた銀閣は慈照寺の中にあり，同仁齋とよばれる部屋は，慈照寺の東求堂内につくられた。この部屋は()の特徴を示しており，その後，大阪城や姫路城にもこの造りの建物がつくられた。

(兵庫県)

[解答欄]

--	--

[解答] 足利義政 書院造

[問題]

次の説明には，誤りのものがあることがわかった。その部分を下線部ア～エから1つ選び，符号で答え，正しい語を書け。

銀閣は，ア 足利義政が東山の別荘に建てた。寺院の様式が，武家の住居に取り入れられたイ 寝殿造の特色がみられる。また，3代将軍ウ 足利義満が建てた エ 金閣と並んで有名な建築物である。

(宮崎県)

[解答欄]

--

[解答]イ，書院造

[解説]

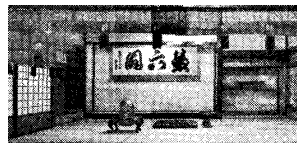
しんでんづくり寝殿造は，平安時代の貴族の住宅に取り入れられた様式。しょいんづくり書院造は，室町時代以降，武士の住居に取り入れられた様式で，たたみを敷き，床の間を設けている。

[問題]

右の写真は，金沢の兼六園にある成巽閣の内部である。

このような建築様式を何というか。

また，そう判断した理由を写真から1つ見つけて書け。



(石川県)

[解答欄]

--	--

[解答] 書院造 畳を敷きつめているから。(明障子があるから。床の間があるから。)

[問題]

銀閣が建てられたころの文化を何というか。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]東山文化

[問題]

北山文化や東山文化について、適切でないものを次のア～エから1つ選び、記号を書け。

- ア 公家文化と禅宗の影響を受けた金閣がつくられた。
- イ 銀閣には書院造が取り入れられ、床の間が設けられた。
- ウ 龍安寺には、石をたくみに配置した石庭がつくられた。
- エ 東大寺南大門が再建され、金剛力士像が置かれた。

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エは鎌倉時代の文化である。

[水墨画]

[問題]

将軍足利義政のころ、()は、墨一色で自然をえがく水墨画を大成し、「山水長巻」などの名作を残した。文中の()内に入れる適語を答えよ。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]雪舟

[解説]

和紙に墨一色の濃淡でえがく絵画を水墨画という。禅僧の雪舟が大成した。



雪舟:水墨画

[問題]

和紙に墨一色の濃淡で描く()画は、雪舟によって大成された。文中の()内に入れる適語を答えよ。

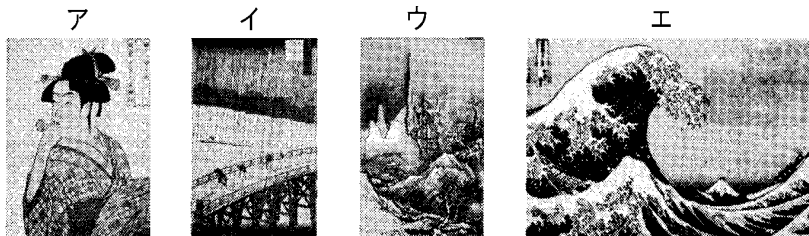
(補充問題)

[解答欄]

[解答]水墨

[問題]

雪舟えがいた水墨画を、ア～エから1つ選び、その記号を書け。



(高知県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア・イ・エは江戸時代の浮世絵。

[能・狂言など]

[問題]

貴族や武士に楽しまれていた猿楽や田楽などは、観阿弥・世阿弥父子が()として大成し、将軍や大名、貴族の保護を受けて発展した。今も各地で演じられている。文中の()内に入れる適語を答えよ。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]能

[解説]

平安時代から神社の祭りなどの時、農民によって行われてきた
でんがく さるがく あしかがよしみつ かんあみ ぜあみ
田楽や猿楽は、足利義満の保護を受けた観阿弥と世阿弥によつ
て能として大成された。狂言は能の合間に演じられた。

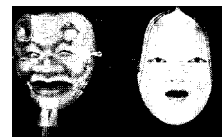
[能・狂言]

能：観阿弥・世阿弥

狂言：能の合間

[問題]

佐渡では、猿楽や田楽から生まれた右の資料の舞台芸術や狂言が伝わり、最盛期には多くの舞台が作られた。資料の舞台芸術の名称を書け。また、資料の舞台芸術を大成させた人物を、次の [] から選べ。



[世阿弥 兼好法師 松尾芭蕉 出雲の阿国]

(群馬県)

[解答欄]

[解答] 能 世阿弥

[問題]

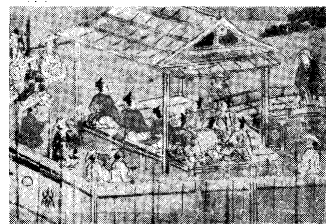
右の資料に関連して、この芸能を世阿弥らが完成させたころの将軍は誰か。人物名を次から 1 つ選べ。

[徳川吉宗 徳川家康 足利尊氏 足利義満]

(大分県)

[解答欄]

[解答]足利義満



[問題]

能の合間に演じられ、当時の話し言葉を使った喜劇を何というか。その名称を書け。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]狂言

[問題]

「浦島太郎」や「物臭太郎」などの話をもとにした絵本を何というか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]御伽草子

[解説]

室町時代，民衆の地位が向上し，民衆が楽しむ文化が生まれた。「浦島太郎」や「一寸法師」などの御伽草子とよばれる絵本がつくられ，人々を楽しませた。また，和歌の上の句と下の句を，次々に別の人がよみあう連歌も流行した。

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdData 入試社会(16,200 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdttext.com/dan/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発 : URL <http://www.fdttext.com/dat/> Tel (092) 404-2266】